



砂中だより

第279号

令和8年9月1日

江東区立砂町中学校

校長 小野 享洋

自分で問い、ともに創る—新たな「チーム砂中」のスタート

校長 小野 享洋

長かった夏休みが明け、校舎に生徒たちの元気な声が戻ってきました。

この夏、皆さんはどのような時間を過ごしたでしょうか。部活動に汗を流した人、地域での行事に参画した人、じっくりと読書や学習に取り組んだ人、あるいは社会のニュースを見て「なぜだろう」と疑問を感じた人。一人ひとりが異なる場所で、それぞれの体験を通して一回り大きく成長したことと思います。

9月は前期の締めくくりに向けた大切なまとめの時期であり、10月14日からは大きな節目の「後期」が始まります。特に10月24日(土)には、日頃の教育活動の成果を披露する「文化発表会」が控えています。この充実の実りを迎えるにあたり、皆さんに意識してほしいことが二つあります。

一つ目は、「自ら問いを持ち、主体的に動くこと」です。行事や日々の授業を、ただ受け身の姿勢でこなすのは勿体ないことです。文化発表会に向けた実行委員会活動や日々の探究の中で、「どうすれば深く伝わる展示になるだろう」「どうすれば自分の考えを豊かに表現できるだろう」という問いを持ち、自主性と創造性を発揮して動いてみてください。皆さんの工夫と挑戦こそが、学びを深め、砂町中学校をより発展させる原動力になります。

二つ目は、「違いを認め合い、ひとつの『チーム砂中』になること」です。合唱コンクールをはじめとする舞台発表や、一人ひとりの個性と工夫が詰まった展示において、お互いの強みを活かし、尊重し合う姿勢が欠かせません。自分の思いを一生懸命に表現すると同時に、仲間の努力や表現にも温かく耳と目を傾け、称え合うこと。その対話と協力のプロセスの先にこそ、一人の力では到達できない大きな達成感と絆が生まれます。

特に、自身の進路という大きな節目に向かっていく3年生の皆さんにとって、この秋培う「自律して挑む姿」と「高め合える仲間の存在」は、きっと自分を支える最大の糧となるはずです。

保護者の皆様、地域の皆様、今期も生徒たちが自分の足で立ち、仲間とともに成長していけるよう、温かく見守り、背中を押していただければ幸いです。



「いざ」に備える ～災害から命を守るために

この夏休み中も、7月末の熊本地震をはじめ、各地で豪雨や大規模な地震が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害は、いつ、どこで、どんな状況で起こるか分かりません。私自身、この夏に「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」を訪れ、東日本大震災当時の校長先生から直接お話を伺う機会がありました。校内には当時の津波の恐ろしさがそのまま残されており、日頃からの避難訓練や、迅速で適切な判断がいかに多くの命を救うかを改めて痛感いたしました。

学校でも命を守る安全指導を徹底してまいります。ご家庭での備えも不可欠です。突然の災害に直面したとき、子どもたちが自分で考えて「自分の身を守る行動」をとれるよう、防災の日をきっかけに、ぜひご家族で防災について話し合ってみてください。

- ◎避難場所や危険な場所の確認（ハザードマップのチェック）
- ◎家族が離れ離れになった際の連絡方法や集合場所の決定
- ◎非常持出袋の中身や期限の点検



「自分の命は自分で守る」という意識を育てるとともに、ご家庭での「いざ」という時の備えを、この機会にぜひ見直してみたいはいかがでしょうか。

今後の主な予定

- 9月 8日（火）～10日（木） 前期期末考査
- 9月12日（土）道徳授業地区公開講座（6月に行われる予定の振替）
- 9月17日（木）職場体験（2年～18日）給食試食会 学校保健委員会
- 9月25日（金）修学旅行（3年～27日 長崎） 3年は28日（月）29日（火）振替休日
- 10月1日（木）都民の日（学校休業日）
- 10月2日（金）生徒会役員選挙
- 10月3日（土）土曜授業（4時間授業給食後下校） 学校説明会
- 10月4日（日）江東区民祭 砂町大会
- 10月5日（月）振替休業日
- 10月6日（火）江東区連合陸上大会
- 10月9日（金）前期終業式



その他詳細は学年だよりや「すぐーる」の配信をご確認ください。

教育目標「自ら進んで学習し創造性に富んだ人」

「心身を鍛え、勤労と責任を重んずる人」

「みんなと協力して、持続可能な社会をつくる人」